



この展覧会は、観峰館・琵琶湖文化館両館の特徴を活かし、琵琶湖文化館収蔵品を中心に、東近江地域ゆかりの寄託作品、奈良時代・平安時代の一連の古写経コレクションや、江戸時代以降の書の名品を取り上げます。特に、同地域では初公開となる重要文化財「寂室元光墨蹟」（東近江市・退蔵寺所蔵）（前期）や、近年住友財団の助成で修復を終え、寺外では初公開となる「不動明王三童子像」（東近江市・乾徳寺蔵）（後期）を展示する他、話題性の高い西郷隆盛書簡や渋沢栄一書軸等、あわせて**55作品**を展示します。

日本屈指の書の博物館という強みを活かし、滋賀県や東近江地域の文化財に新たな光を当てた他に例のない展覧会です。 *観峰館としては特別企画展、琵琶湖文化館としては地域連携企画展としています。

主要出品作品（解説）※全出品作品は、別紙「**展示出品リスト**」をご参照ください。

12、主な出品予定作品

①、滋賀県指定文化財 被帽地蔵菩薩像 鎌倉～南北朝時代（14世紀） 法蓮寺（東近江市）所蔵

通常の地蔵菩薩とは異なり、頭から透明な布を被った特異な像である。図像の典拠は不明だが、中国・朝鮮半島に同様の例があり、高麗仏画の特徴が指摘できる。一方で面貌や金泥・截金の技法は鎌倉後期の特徴がうかがえるため、国内で高麗仏画を写したものと考えられる。

【全期】

②、重要文化財 輪宝蒔絵経箱 室町時代・応永16年（1409） 百濟寺（東近江市）所蔵



蒔絵が施された経典を収める箱。針描（漆が生乾きのうちに引き搔いて線描する技法）で丁寧に仕上げられる。輪宝とは、密教の法具の一つである。蓋裏の銘文に「応永十六年〈己丑〉二月十七日」とあり、制作年が分かる貴重な作品である。

【後期】



③、重要文化財 墨跡「越谿」 寂室元光/筆 南北朝時代・貞治5年（1366） 退蔵寺（東近江市）所蔵



永源寺の開山である寂室元光（1290～1367）の最も著名な墨跡の一つ。愛弟子の越谿秀格（？～1413）に与えた道号と、秀格への思いが2幅の掛軸に揮毫される。雄大な筆遣いととも、湖中の草魚の姿が擦り出された蠟箋も見どころの一つ。【前期】



④、滋賀県指定文化財 紺紙金泥妙法蓮華経

平安時代（12世紀） 百濟寺（東近江市）所蔵

百濟寺には、無量義經・觀普賢經を含む法華經（妙法蓮華經）十巻が伝来する。各巻表紙には金銀泥で宝相華唐草文を描き、見返しには同じく金銀泥で、中央に釈迦説法図、後方に山岳、手前に説相図を描く。その本文は、実直な線質の筆捌きであり、平安時代の特徴をよく表しており、書の名高い名品の一つ。



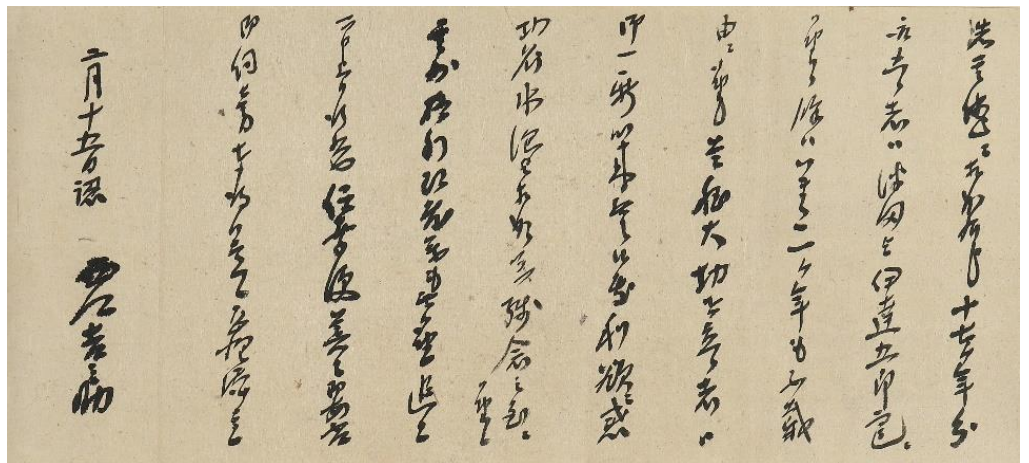
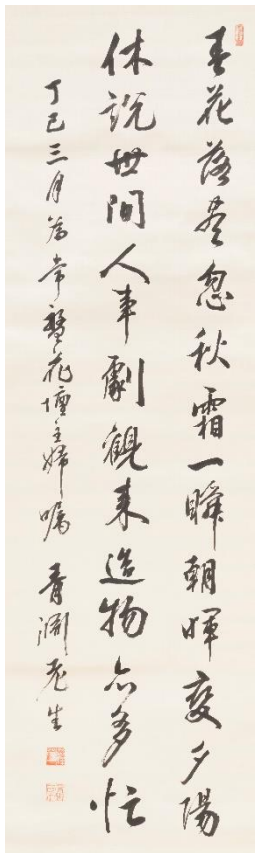
【全期・展示替】

⑤、「七言絶句（贈常盤花壇婦人）」 渋沢栄一/筆 大正6年（1917） 琵琶湖文化館所蔵

本年7月より1万円札にその肖像が採用される、渋沢栄一の書。続本に書かれた上品な作品。かつて神戸にあった「常盤花壇」の料亭の女将に頼まれたもので、栄一が第一次世界大戦における戦傷者への寄付金を募る際、当旅館に立ち寄ったという。**【全期】**

⑥、書簡 西郷公望/書 明治5年（1872）2月 個人蔵（琵琶湖文化館寄託）

昨年、およそ100年ぶりに発見された西郷隆盛の書簡。大久保利通に宛てたもので、当時の国内状況の他、写真嫌いである西郷が、大久保の肖像写真を「醜体」と書くなど、その人柄が素直に出た手紙である。**【後期】**

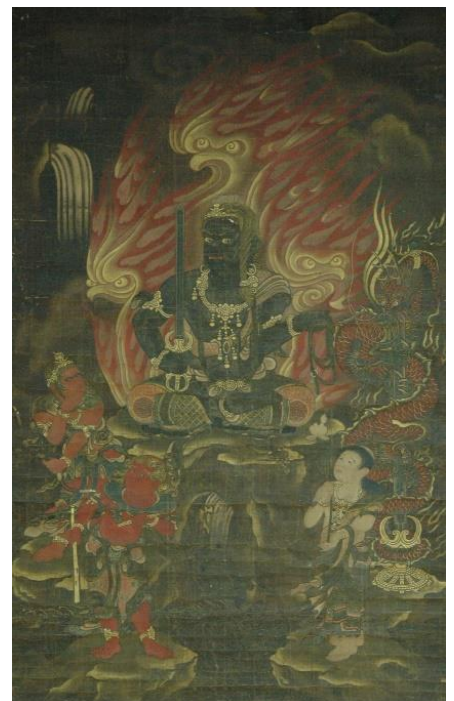


⑦、東近江市指定文化財 不動明王三童子像 南北朝時代（14世紀） 乾徳寺（東近江市）所蔵

総髪で左耳前に弁髪を垂らし、やや右方を見て正面に刮目する青不動明王を中心に三童子を配し、さらに俱利伽羅龍を加える、稀少な図様の作品。鎌倉後期以降に活発化する、阿闍梨による意想意楽の図像展開を示す好例として注目される。

2021・2022年度住友財団文化財維持・修復事業助成にて修復したものであり、修復後、当館で初公開となる作品。

【後期】



展覧会概要

- 展覧会名** 観峰館特別企画展・琵琶湖文化館地域連携企画展
「滋賀限定！近江ゆかりの書画～古写経から近代の書まで～」
- 会期** 令和6年（2024）9月21日（土）～11月24日（日）（56日間）
前期；9/21～10/20 後期；10/22～11/24
- 時間** 9：30～16：00（入館は15：30まで）
- 休館日** 月曜日（祝日の場合は翌日）
- 会場** 観峰館 新館特別展示室
- 入館料** 一般1,500円（1,000円） 高校生・学生1,000円（500円） 小・中学生100円
※（ ）は割引価格。対象は、HP内ご利用案内「割引について」を参照。
- 主催** 公益財団法人日本習字教育財団 観峰館 / 滋賀県立琵琶湖文化館



「ご利用案内」はこちら

関連イベント

- ギャラリートーク&ミニセッション 10/13 13時30分～15時00分
担当；井上 優（琵琶湖文化館副館長）、和澄浩介（同館主任学芸員）、寺前公基（観峰館学芸員）
- 土曜講座
9/28「近江ゆかりの書跡を探る①－雲居希膺（うんご きょう）－」
11/23「近江ゆかりの書跡を探る②－副島種臣（そえじま たねおみ）－」
各日 13:30～14:30 講師；寺前公基（観峰館学芸員） 定員20名 ※要予約
- 記念講演会「東近江地域文化財の将来」 10/27 13時00分～15時00分
講師；藤田励夫氏（京都府立大学共同研究員）、坂田さとこ氏（(株)坂田墨珠堂代表・装潢師）
- 琵琶湖文化館主催「滋賀の文化財講座」
花湖さんの打出のコヅチ解説付鑑賞会 11/13 14時00分～15時30分
講師；井上 優（琵琶湖文化館副館長）、寺前公基（観峰館学芸員）
※予約（10/24～）は、琵琶湖文化館（☎077-522-8179）まで
※「滋賀の文化財講座」花湖さんの打出のコヅチ解説付鑑賞会 <http://biwakobunkakan.jp/koduti.html>
- アンティークオルゴール鑑賞会 9/29 14時30分～15時30分 ※入館無料日

展覧会担当者

公益財団法人 日本習字教育財団 観峰館 学芸員 寺前 公基（てらまえ きみもと）
〒529-1421 滋賀県東近江市五個荘竜田町136 TEL0748-48-4141 kampokan@nihon-shuji.or.jp